

文書館收藏の拓本資料2

—金工品の拓本紹介—

諸岡 勝

はじめに

当館が所蔵する拓本資料については、前号で板碑を取り上げたが、今回は、林家、小室家に所蔵されている罌口や梵鐘などの中世の金工品を紹介したい。

1 林家・小室家所蔵の金工品関係拓本

(1) 林家の拓本資料

林家は、前号で紹介したように入間郡赤尾村（坂戸市赤尾）の名主をつとめた家で、国学と和歌の世界に大きな足跡を残した江戸時代後期の国学者であり、井上淑蔭とも親交の深い林信海をはじめ、大正から昭和にかけて郷土史研究に情熱をそそいだ織善（勝呂村長、坂戸町初代助役をつとめた。一八九六―一九五八）が当主であった。とくに織善は昭和三年（一九二八）に埼玉県史編纂（旧埼玉県史）がはじめると、柴田常恵、稲村坦元等とともに編纂にたずさわり、埼玉郷土会の幹事もつとめ、『埼玉史談』などに数多くの論文や史料採訪の成果を発表している。こうした調査の過程で収集した資料が林家（七四点）に残り、今日に伝えられているのである。

林家の板碑関係の拓本については、前号で紹介したので、今回は、別表の板碑以外の中世までの金工品の拓本一三点を紹介する。

(2) 小室家の拓本資料

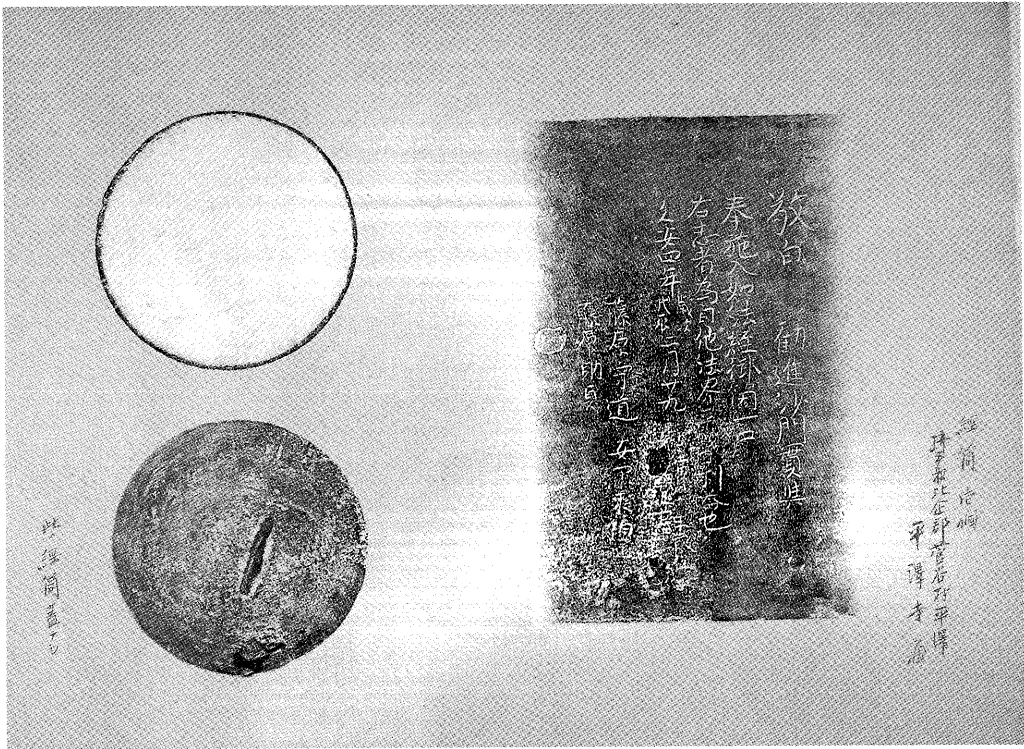
小室家は、越前国（現福井県）出身で旧姓を田代といい、享保年間（比企郡番匠村（現ときがわ町番匠）に居住し、蘭方産科医として地域の医療に貢献するとともに、小室家五代の小室元長は、医業のほか漢学・歴史学の研究に励み、その過程で多くの典籍や地誌をはじめ書画・拓本が小室家に収蔵されている。

今回、収録した拓本は、句碑や遺徳碑を除く、慈光寺をはじめとする比企・入間地域の金工品六点である。

この林・小室両家の拓本一九点のうち、半数あまりが失われたり、破損しており、拓本として形態や銘文が残されていることで資料的な価値は高い。また、現存する金工品の多くが今日では文化財保護の見地から採拓できない資料である。

※ゴチック体は文書館収蔵目録の番号

- 1 久安四年(一一四八) 銘経筒 嵐山町 平沢寺
 - 林家一〇二二七 久安4・2・29 菅谷村平澤寺蔵経筒拓本
 - 2 寛元三年(一二四五) 銘梵鐘 ときがわ町 慈光寺
 - 小室家五七四六・六二三八 寛元3・5・18 [都幾川慈光寺梵鐘]
 - 3 建長六年(一二五四) 銘梵鐘 東松山市 無量寿寺
 - 小室家六一九八・六二五六 建長6・2・15 [東松山野本寺梵鐘]
 - 4 文応元年(一二六〇) 銘梵鐘 川越市 養寿院
 - 小室家六二五七・六二五八 文応元・11・22 [川越養寿梵鐘]
 - 5 正慶二年(一三三三) 銘梵鐘 東秩父村 淨蓮寺
 - 林家一〇二二三 文明11・8・9 秩父郡淨蓮寺蔵鈞鐘銘拓本
 - 6 安元二年(一一七六) 銘懸仏 嵐山町 鎌形八幡神社
 - 貞和四年(一二四八) 銘懸仏 嵐山町 鎌形八幡神社
 - 林家一〇二二〇 貞和2 菅谷村鎌形八幡神社懸仏拓本(二面)
 - 8 文安二年(一四四五) 銘懸仏 鷺宮町 鷺宮神社
 - 銅製蓬萊文鏡 鷺宮町 鷺宮神社
 - 9 林家一〇二二一 文安2・5・4 鷺大明神蔵銅鏡及懸仏拓本(河口郷藤田五郎銘)
 - 10 永正十年(一一五三) 銘鱗口 (坂戸町 大蔵院)
 - 林家一〇二九四 永正10・10・15 入間郡粟生田上村七所宮鱗口拓本
 - 11 天文五年(一五三六) 銘鱗口 ときがわ町 武藤家
 - 林家一〇二一九 天文5・2・16 西平村多武峯蔵鱗口拓本
 - 12 応永十一年(一四〇四) 銘鱗口
 - 林家一〇二六一 応永12・5・10 上総州周東郡白駒村鱗口拓本
 - 13 天正十七年(一五八九) 銘鉄灯籠 さいたま市岩槻区 慈恩寺
 - 林家一〇二〇八 天正17・5 南埼玉郡慈恩寺鉄燈籠銘拓本
 - 14 慶長二年(一五九七) 銘鱗口
 - 小室家六二三九・六一七〇 [豆州熱海郷湯前大権現鱗口]
 - 15 寛文十一年(一六七二) 銘鱗口
 - 林家一〇二〇七 寛文11・9・吉 入間郡赤尾村鱗口外拓本
 - 16 元禄四年(一六九二) 銘磬
 - 林家一〇二二一 元禄4・6・吉 児玉郡金屋村四萬寺蔵 淵竜寺蔵銅磬拓本(二面)
 - 17 磬
 - 林家一〇二六二 寛文10・7・13 中院銅磬拓本二種
 - 18 寛文十年(一六七〇) 銘磬
 - 林家一〇二二六 寛文10・7・13 中院銅磬拓本二種
 - 19 銅製桐文方鏡 鷺宮町 鷺宮神社
 - 林家一〇二二六 鷺神社蔵桃山時代白銅方鏡拓本
- 引用・参考文献
- 坪井良平『日本の梵鐘』角川書店 一九七〇
- 『仏教考古学講座第4巻 仏法具篇(下)』雄山閣出版 一九七一
- 坪井良平『日本古鐘銘集成』角川書店 一九七二
- 千葉県史料調査会『千葉縣史料 金石文篇二』一九七八
- 篠崎四郎『日本金石文の研究』柏書房 一九八〇
- 坂戸市『坂戸市史 中世史料編II』一九八〇
- 東松山市『東松山市史資料編第二巻古代〜中世 文書・記録・板石塔婆編』一九八二
- 埼玉県『新編埼玉県史 資料編9』中世5 金石・奥書 一九八九
- 埼玉県立博物館『さいたまの名宝』一九九一
- 都幾川村『都幾川村史資料6文化財編 中世石造物』一九九五
- 坂戸市教育委員会『中世のさかど』一九九六
- 都幾川村『都幾川村史 通史編』二〇〇一
- 埼玉県立文書館『小室家家文書目録』収蔵文書目録第36集 一九九七
- 埼玉県立文書館『林家文書目録』収蔵文書目録第22集 一九八六



1 久安四年（一一四八）銘經筒 林家一〇二二七

敬白 勸進沙門實與

奉施入如法經御筒一口

右志者為自他法界平等利益也

久安四年 歲次 戊当国大主散位
 二月廿九日 午平朝臣茲繩方縁等

藤原守道 (部) 安口末恒

藤原助貞

〔朱書〕

經筒 壹個 埼玉県比企郡菅谷村平澤

平澤寺藏 此經筒蓋ナシ

原資料 比企郡嵐山町 平澤寺藏

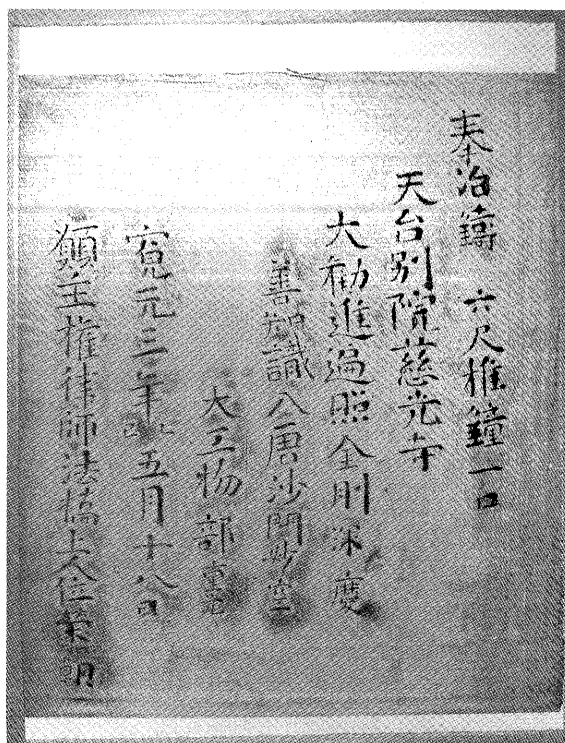
鑄銅製、円筒形をした經筒。高二四・〇

県指定有形文化財

備考 左は經筒上部の縁と底部の拓本。

厚紙の台紙に貼付。

文献 『新編埼玉県史 資料編9 中世5 金石文・奥書』一九八九



2 寛元三年(一二四五) 銘梵鐘 小室家五七四六・六三三八

奉治鑄 六尺椎鐘一口

天台別院慈光寺

大勸進遍照金剛深慶

善知識入唐沙門妙空

大工物部重光

寛元三年^乙五月十八日

願主権律師法橋上人位榮朝

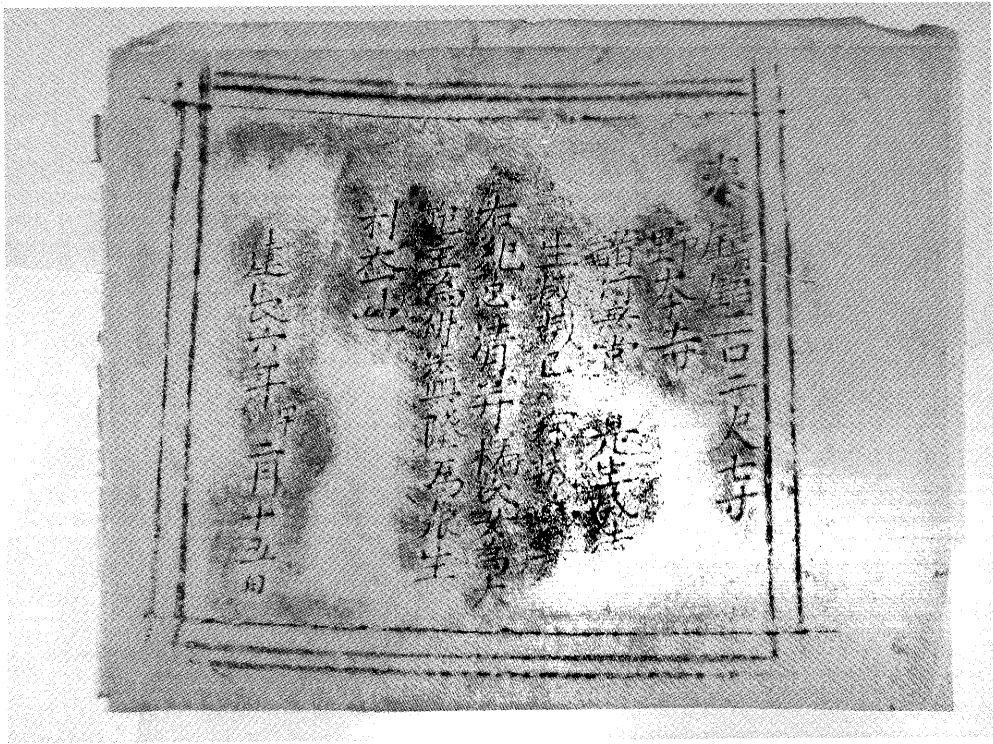
原資料 比企郡ときがわ町西平 慈光寺藏

鑄銅製。総高一四八・〇cm 口径八八・四cm

重要文化財。

備考 乾拓による採拓。原資料は二区に「銅一千式百斤」と陽鑄されているが、この部分の拓本はない。厚紙の台紙に貼付。

文献 『新編埼玉県史 資料編9 中世5 金石文・奥書』一九八九



3 建長六年（一二五四）銘梵鐘 小室家六一九八・六二五六

奉鑄鐘一口二尺七寸

野本寺

諸行無常 是生滅法

生滅滅已 寂滅為樂

右紀忠清并橘氏女為大

施主為仏法興隆為衆生

利益也

建長六年^{甲寅}二月十五日

原資料 天保年間の火災により、焼損。

東松山市 無量寿寺に拓本あり。

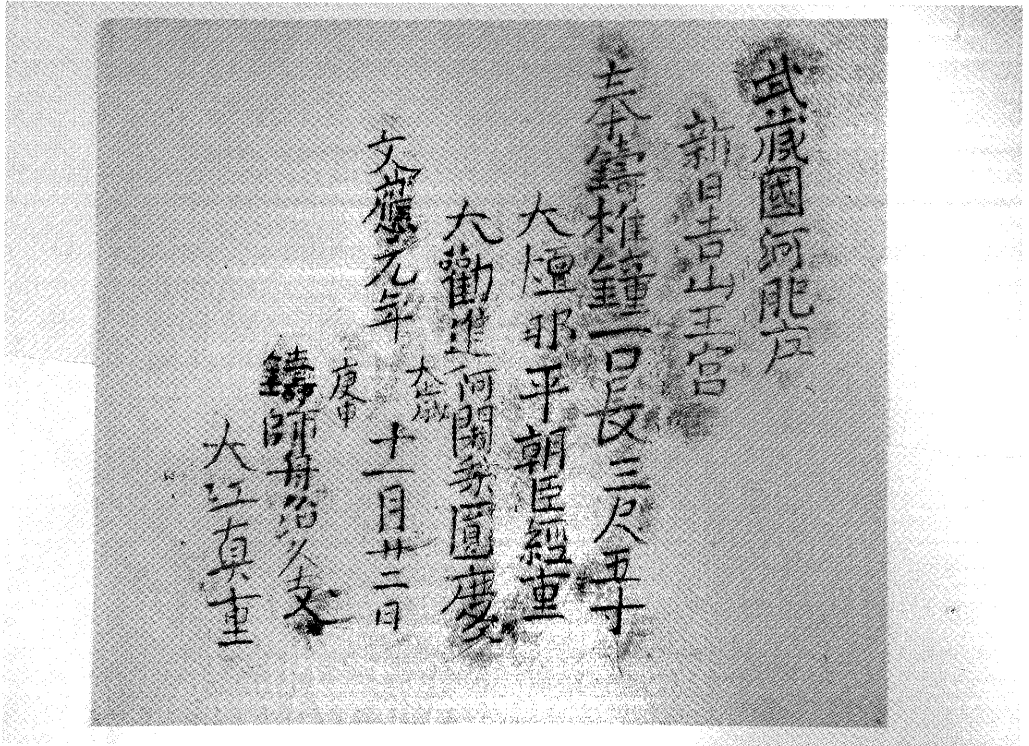
銅製。

備考 乾拓による採拓。

文献 『新編埼玉県史 資料編9 中世5 金石文・奥書』一九八九

坪井良平 『日本古鐘銘集成』角川書店 一九七二

集古十種に拓影あり。東京国立博物館に拓本あり。



4 文應元年(一二六〇) 銘梵鐘 小室家六二五七・六二五八

武藏国河肥庄

新日吉山王宮

奉鑄椎鐘一口長三尺五寸

大檀那平朝臣經重

大勸進阿闍梨圓慶

文應元年 大歲 庚申 十一月廿二日

鑄師丹治久友

大江真重

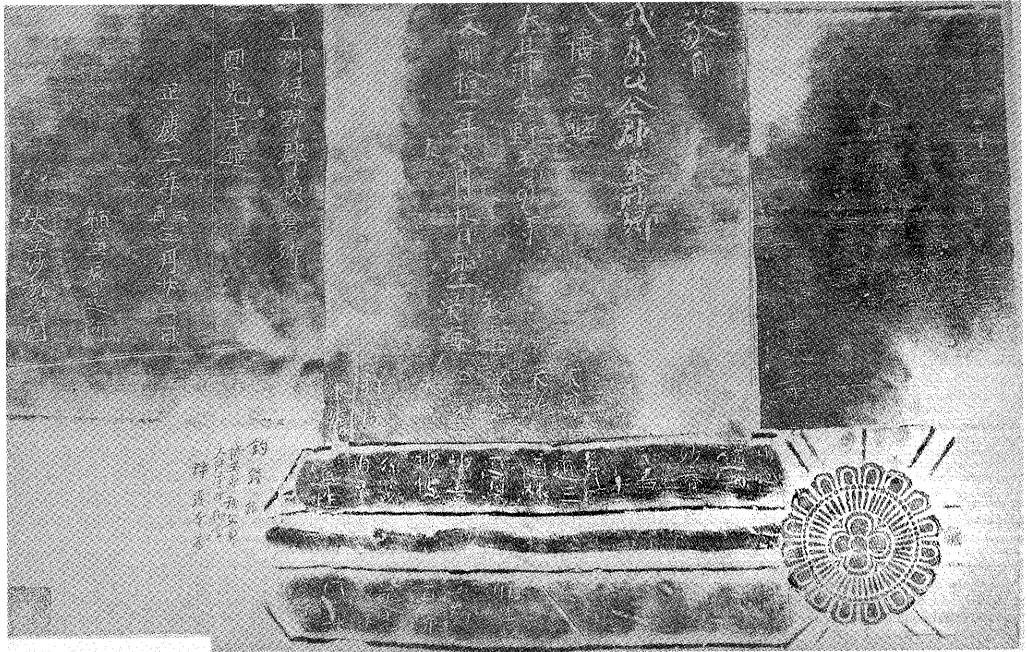
原資料 川越市 養寿院

鑄銅製。高九七・〇cm 口径五六・五cm 重要文化財

備考 乾拓による採拓。

文献 『新編埼玉県史 資料編9 中世5 金石文・奥書』一九八九

坪井良平 『日本古鐘銘集成』角川書店 一九七二



5 正慶二年(一三三三) 銘梵鐘 林家一〇二二三

(一区)

上州緑野郡板倉郷
圓光寺鐘

正慶二年 癸酉 三月廿二日

願主尼蓮阿
大工沙弥淨圓

(二区)

敬白
武海比企郡釜形郷
八幡宮鐘
大旦那野安芸守
文明拾一年 己亥 八月九日聖
永連 榮海
榮尊 道真
榮全 道林
榮俊 助吉
榮順 道性

妙心 道正 妙春 正吉 榮三

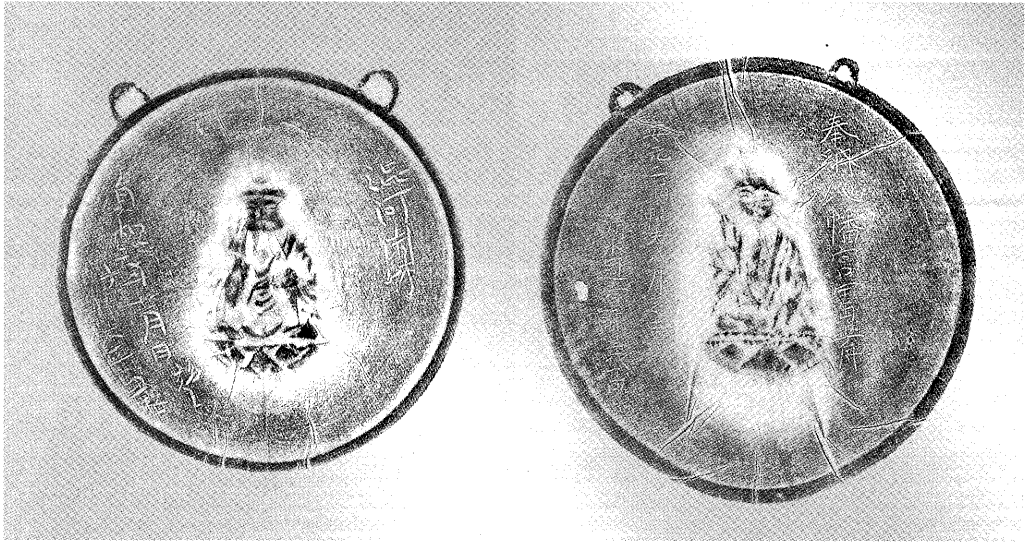
道真 道林 助吉 妙善 妙性 行秀 助次 道性

(三区)

文明十三 辛丑 四月日

大河原御堂
妙栄山
淨蓮寺

原資料 東秩父村 淨蓮寺
備考 鑄銅製。高九九・五cm 口径五二・〇cm 県指定有形文化財
文献 『新編埼玉県史 資料編9 中世5 金石文・奥書』一九八九
坪井良平 『日本古鐘銘集成』角川書店 一九七二



6 安元二年(一一七六) 銘懸仏 林家一〇二二〇

奉納八幡宮宝前

安元二丙 申天八月之吉

清水冠者源義高

7 貞和四年(一一三八) 銘懸仏 林家一〇二二〇

澁河閑坊

貞和二年 戊子 七月日 施主

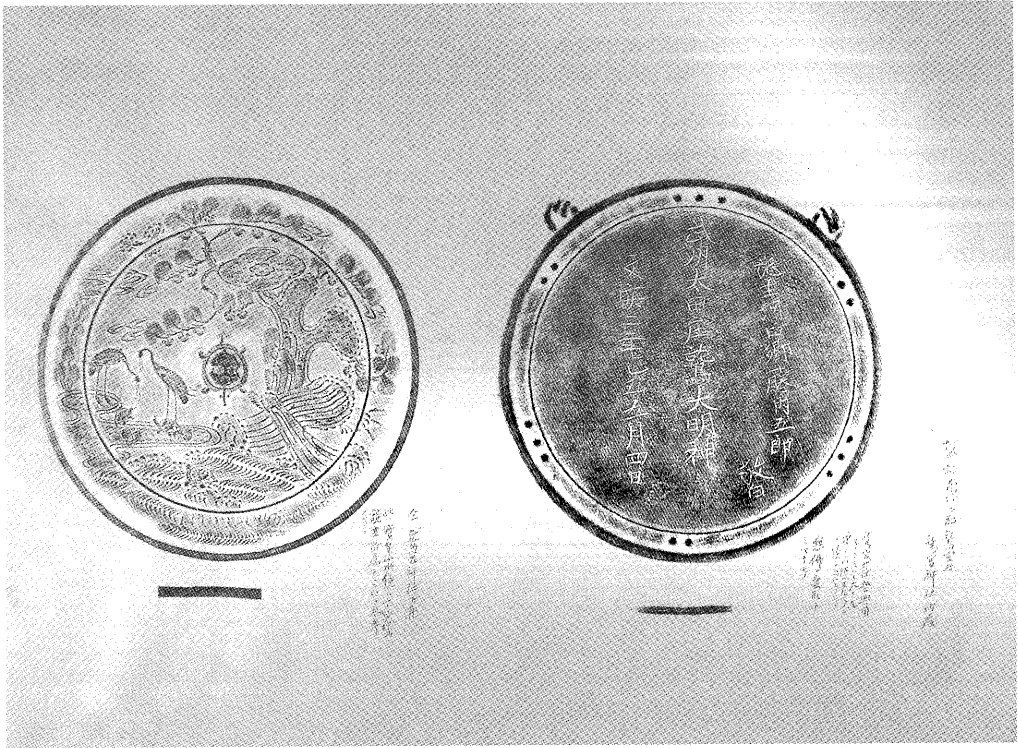
大工兼泰

原資料 嵐山町 鎌形八幡神社

鑄銅製。径一七・二cm(6)、径一四・八cm(7)

備考 6の安元以下は追刻。

文献 『新編埼玉県史 資料編9 中世5 金石文・奥書』二九八九



8 文安二年(一四四五) 銘懸仏 林家一〇二二一

施主河口郷藤内五郎

敬白

武州太田庄鷺大明神

文安二年乙丑五月四日

〔朱書〕

埼玉県南埼玉郡鷺宮村

鷺宮神社所蔵

鷺宮神社祭典用ノモノト云ハレ大ナル矛ニ附随セルモノ
ニテ鏡ト云ハレシヨリ懸佛ノ変形トミベキモノ

原資料 北葛飾郡鷺宮町鷺宮 鷺宮神社

備考 鑄銅製。径二三・七cm 県指定有形文化財。

文献

埼玉県『新編埼玉県史』資料編9 中世5 金石文・奥書『一九八九

埼玉県立博物館編『さいたまの名宝』一九九一

9 銅製蓬萊文鏡 林家一〇二二一

〔朱書〕

同鷺宮神社所蔵

此ノ宝集山水鏡ハ同時代鏡在附属スルヲ以テ参考ス

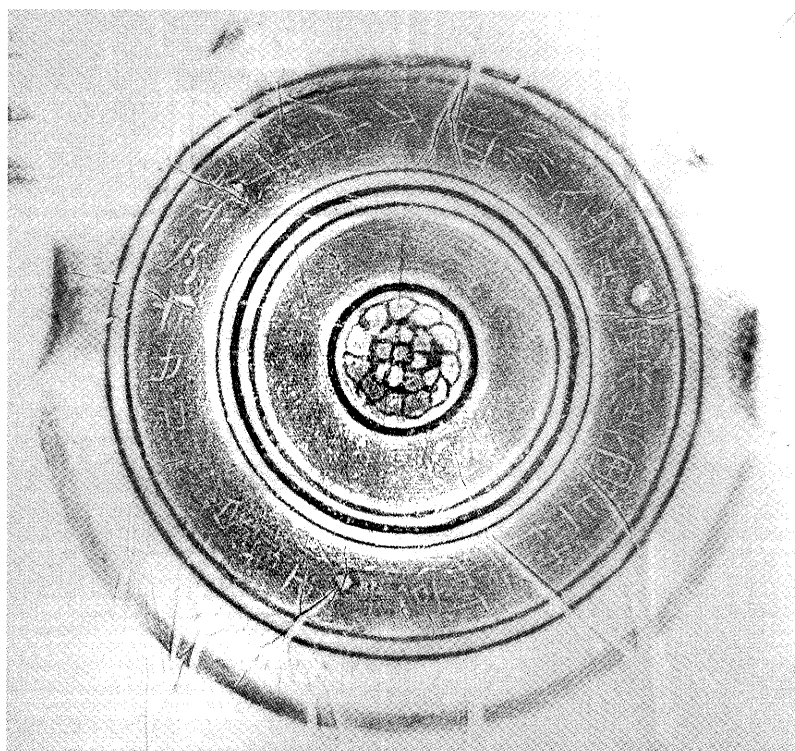
ベシ

原資料 北葛飾郡鷺宮町鷺宮 鷺宮神社

備考 鑄銅製。径二二・〇cm 県指定有形文化財。

文献

埼玉県立博物館編『さいたまの名宝』一九九一



10 永正十年(一五一三) 銘鑄口 林家一〇二九四

武州入西郡粟生田上村七所宮常住鑄口

永正十年 癸酉 十月十五日

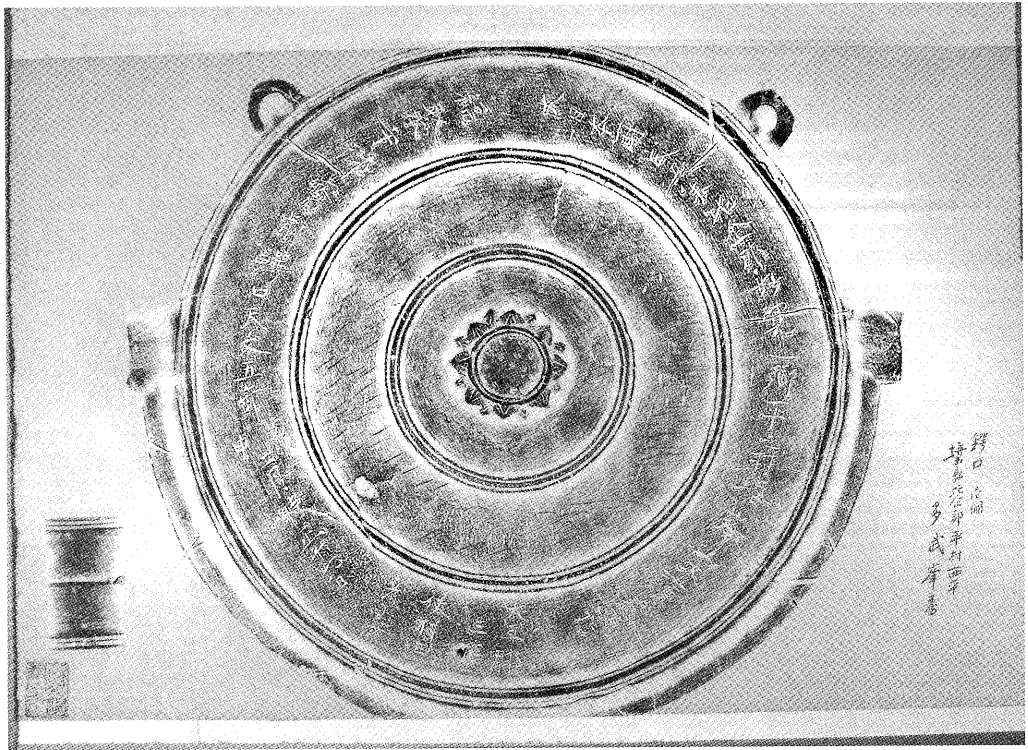
原資料 所在不明。坂戸町 大藏院に所在したとされる。

備考 大藏院は横沼村(坂戸市横沼)にあった本山派修験の寺院。

二〇・〇cm(寸法は拓本による横幅)

文献 『新編埼玉県史 資料編9 中世5 金石文・奥書』一九八九

稲村坦元『武蔵国史料銘記集』



11 天文五年（一五三六）銘鱈口 林家一〇二一九

大日本国武刃末比企郡妙覚之郷平之村塔峯山本願慈眼坊

大旦那

三侶

伏村田

藤子女人

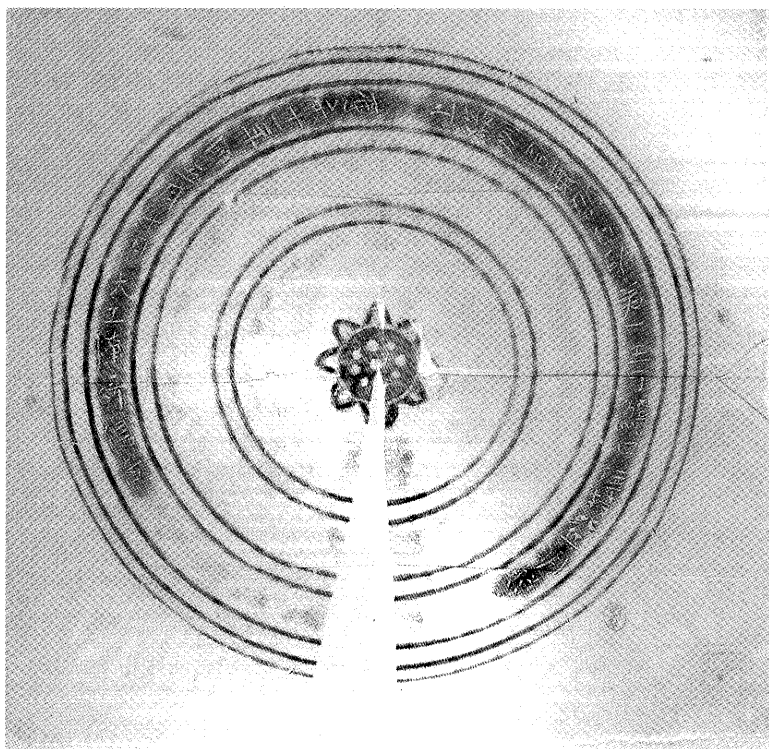
福聚寺御寶前鱈口 天文五年_丙二月時正十六日_申

原資料 ときがわ町 武藤家

備考 径四一・二cm 厚さ一一・三cm

朱字で「鱈口 壹個 埼玉県比企郡平村西平 多武峯藏」とあり

文献 『新編埼玉県史 資料編9 中世5 金石文・奥書』一九八九



12 応永十一年（一四〇四）銘鱈口 林家一〇二六一

上総州周東郡白駒若一王子鱈口住持比丘明照

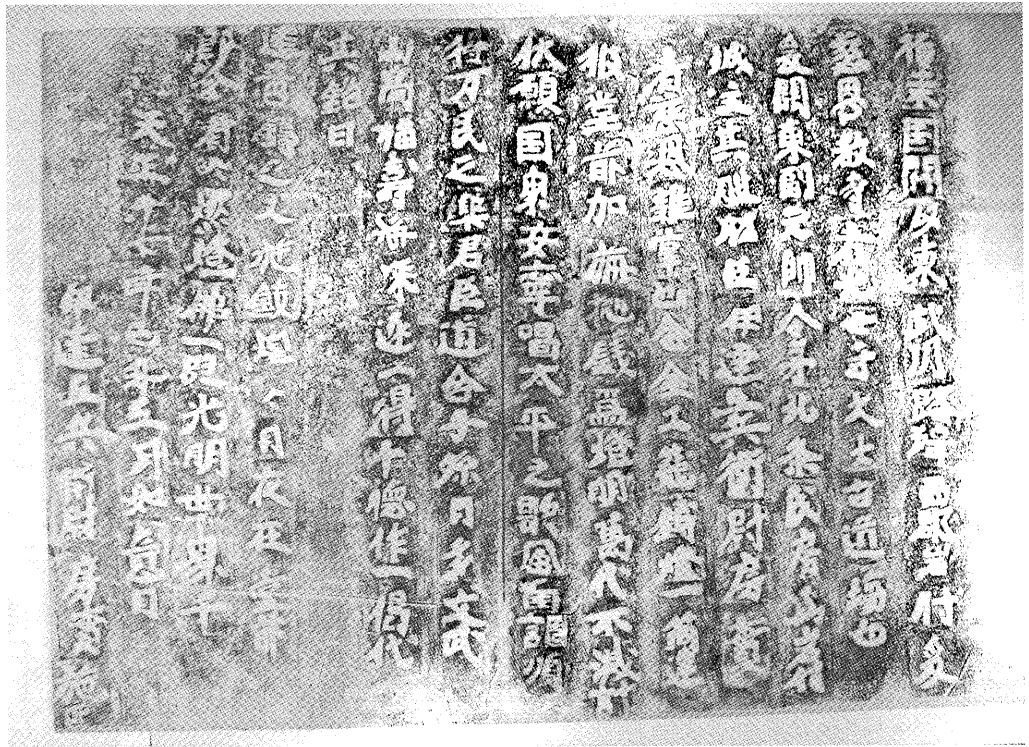
応永十一年^{甲申}五月十日大工楠崎信吉

原資料 所在不明。

備考 篠崎四郎『房総金石文の研究』所収、同書に径九寸、

『君津郡中村白駒神社』今所在不明とある。

文献 篠崎四郎『日本金石文の研究』柏書房一九八〇



13 天正十七年（一五八九）銘鉄灯笼 林家一〇二〇八

扶桑国関以東武州路埼玉郡岩付爰

慈恩教寺者光世音大士古道場也

爰関東副元帥令弟北条氏房為岩付

城主其股肱臣伊達与兵衛尉房実

者慈恩雜掌也命金工籠鑄燈一箇建

彼堂前加柅拋錢為燈明万代不滅計

伏願国界安寧唱太平之歌風雨調順

得万民之樂君臣道合子孫日多文武

山高福寿海深逐一得十德作一偈代

其銘曰

遐音鑄之又施錢煌々日夜在堂前

即今看々燃燈仏一段光明世界千

天正十七年己丑五月如意日

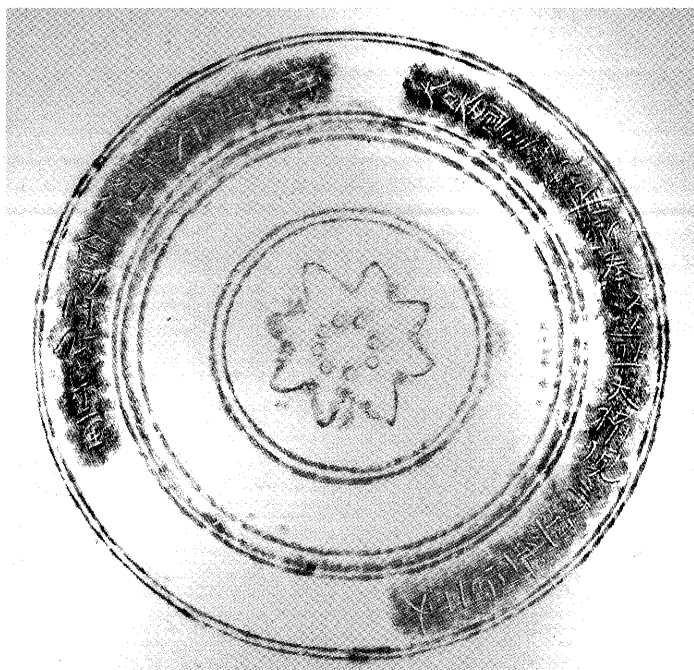
伊達与兵衛尉房実施焉

原資料 さいたま市岩槻区 慈恩寺

鑄銅製。高二四九・五cm 径六六・〇cm

備考 銘文は竿部に陰刻。

文献 『新編埼玉県史 資料編9 中世5 金石文・奥書』一九八九



14 慶長二年(一五九七)銘鱧口 小室家六三九・六一七〇

〔表〕

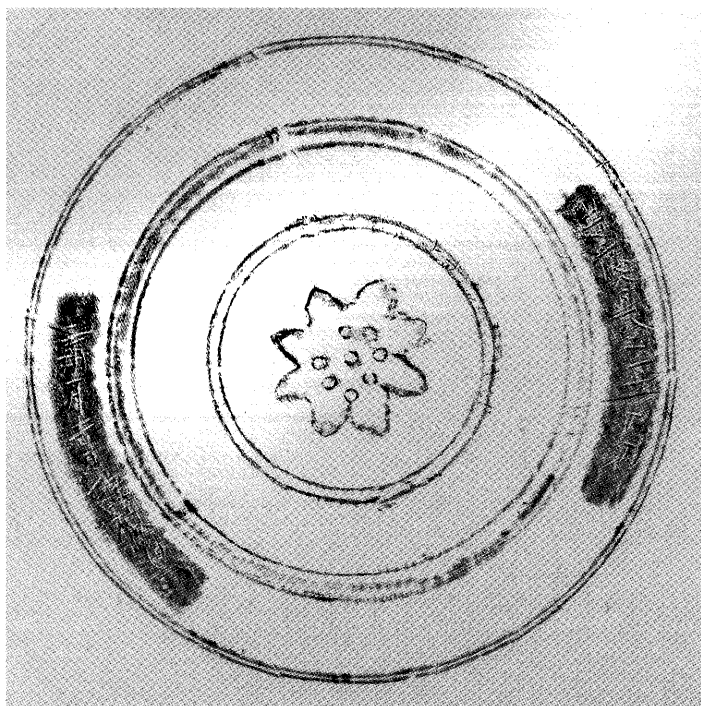
大日本国豆州熱海郷奉□□大権現寄進

丹波国住人并河伍右衛門□宗□

〔裏〕

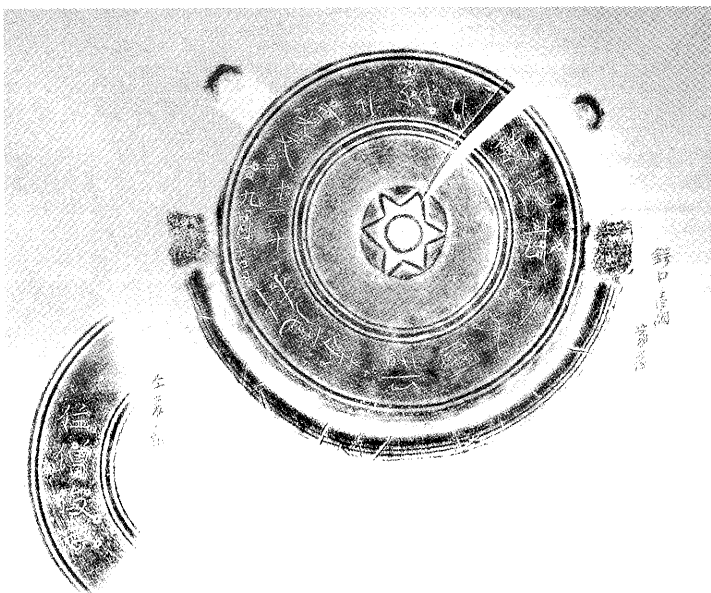
慶長二年丁酉

□□月吉日□敬白



原資料 所在不明。

備考 小室家の目録番号は別であるが、表裏と考えられる。



15 寛文十一年（一六七二）銘鱈口 林家一〇二〇七

〔表〕

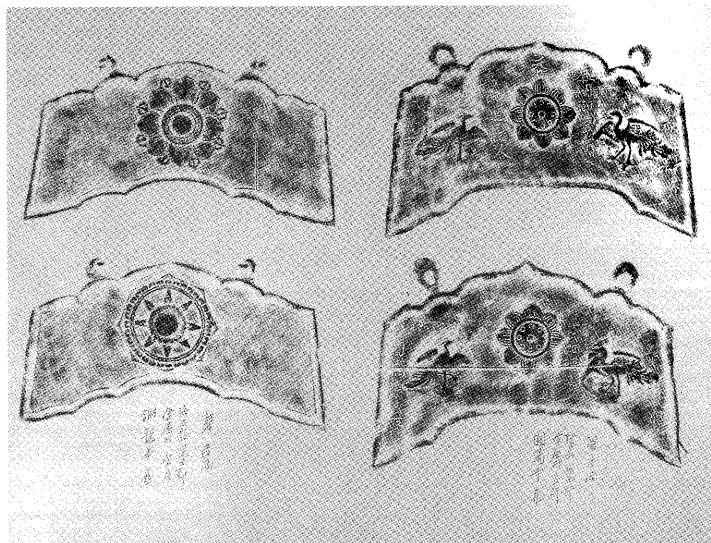
キリーク・サ・サク 弥陀武州入間郡赤尾村

寛文 十一年

辛亥九月吉日

〔裏〕

住僧俊忠



原資料 不明。

径二二・〇cm（拓本による）

備考

阿弥陀三尊種子（キリーク

・サ・サク）を上部に陰刻。

朱字で「鱈口 壹個 家蔵」

とあり

16 元禄四年（一六九二）銘磬

林家一〇二二二

元禄四 辛未 天

奉納御宝前

為武運長久

六月吉日

原資料 本庄市金屋 円萬寺

高一三・五cm

幅二〇・五cm

（拓本による）

備考

朱字で「磬壹面埼玉

具兒玉郡金屋村長沖

円萬寺蔵」とあり

17 磬 林家一〇二二一

原資料 本庄市金屋 円萬寺

高一三・五cm

幅二〇・五cm

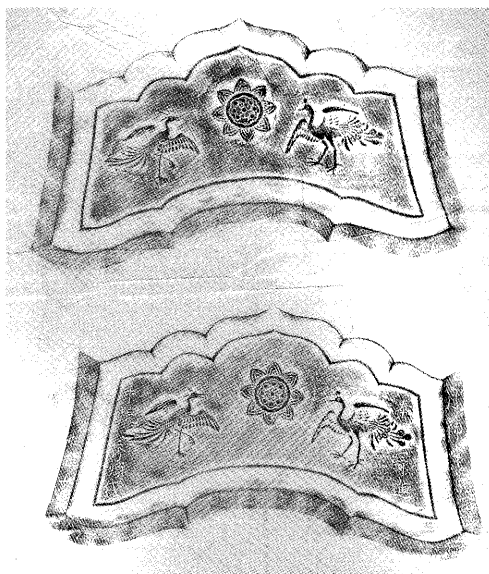
（拓本による）

備考

朱字で「磬壹面埼玉

具兒玉郡金屋村金屋

淵龍寺蔵」とあり



18 寛文十年(一六七〇)銘磐

(裏)

林家一〇二六二

貞月宗源信女

(表)

月補常圓居士

奉寄進

中院秀順代

□月妙性信女

(下縁部)

花誉守栄信女

沓誉理清信女

為六親菩提也

消誉月霜信士

(下縁部)

寛文拾庚戌天七月十三日

施花屋宗樹敬白

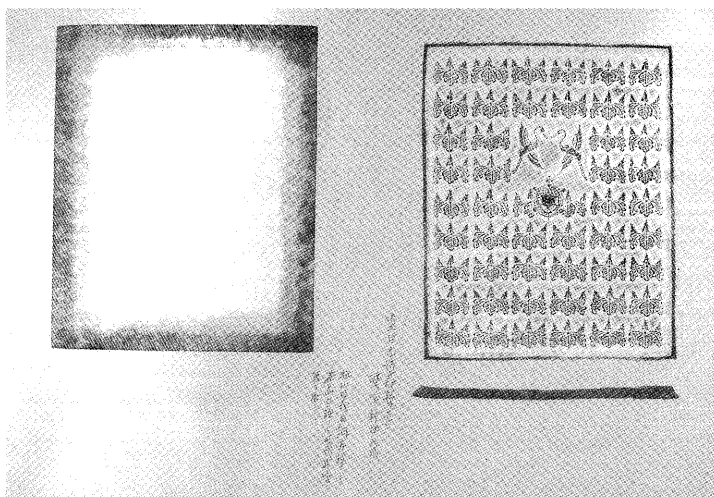
原資料

川越市 中院

高一三・五 cm

幅二五・〇 cm

(拓本による)



19 銅製桐文方鏡

林家一〇二一六

原資料

鷺宮町 鷺宮神社

高三三・〇 cm 幅一八・〇 cm

県指定有形文化財

備考

朱字で「埼玉県南埼玉郡鷺宮村 鷺宮神社所蔵」

桃山時代白銅方鏡トシテノ尤品也

殊ニ全時代時絵宮附ス」とあり